

オンライン会見の記者限定公開が選択可能に。 ライブ配信「PR TIMES LIVE」が一般公開と2パターン選択制へ

－ 用途に応じてライブ配信の限定公開と一般公開を使い分け可能に －

プレスリリース配信サービス「PR TIMES」等を運営する株式会社 PR TIMES（所在地：東京都港区、代表取締役：山口拓己、東証一部：3922、以下 PR TIMES）は、ライブ配信サービス「PR TIMES LIVE」において、これまで提供してきた一般公開の配信方式に加えて、記者限定で公開できる配信方式での提供を開始いたしました。

これにより、新情報を発表する企業・団体は、用途に応じてライブ配信の記者限定公開と一般公開を使い分けることで、これまでオンライン公開を躊躇していた記者発表会も「PR TIMES LIVE」を通じてリアルタイムに届けることが可能となります。

PR TIMES LIVE <https://prtimes.jp/tv/info/live/>



オンライン会見の幅を広げる、限定公開プラン

●PR TIMES LIVE について

PR TIMES LIVE は 2017 年 11 月に提供開始した、プレスイベントのライブ配信サービスです。これまで、国内外の記者会見や、大規模なメディアイベントにおけるライブ配信など数々の配信実績があります。

従来は記者が現地取材しなければ伝えられなかった記者発表会などのイベント模様を、ライブ配信することで、来場していない記者の方もオンライン環境で取材することが出来ます。また、リアルタイムで視聴できない記者に向けても、映像全編・ダイジェスト動画・写真素材・書き起こしテキストを提供しています。

これまで提供してきた「一般公開プラン」では、PR TIMES と YouTube、Twitter でライブ配信し、トレンドに敏感な生活者の方にも直接、リアルタイムで情報を届けてきました。（運営：PR TIMES）

URL : <https://prtimes.jp/tv/info/live/>

YouTube : https://www.youtube.com/channel/UCqUl_nj1nQ0_T0iAej8sjfw

●メディア記者限定公開のライブ配信「限定公開プラン」

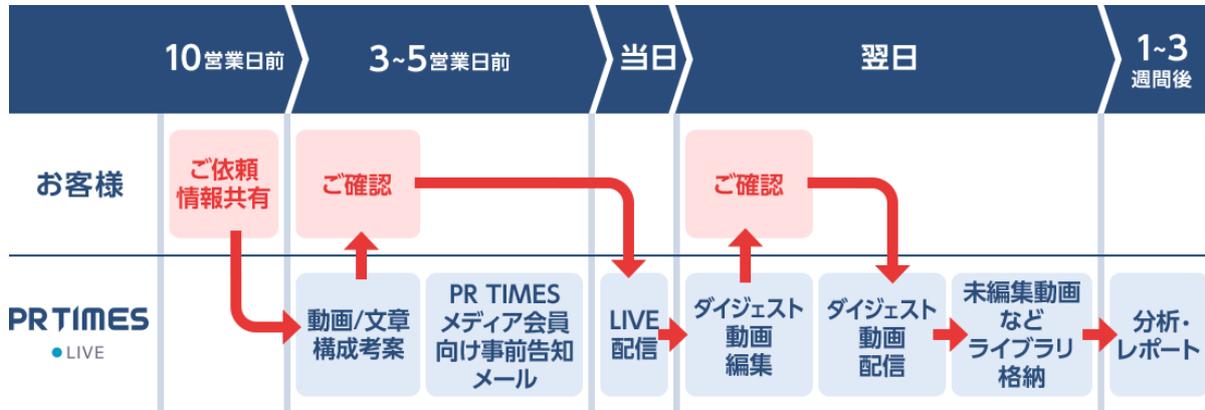
ライブ配信先を限定するプランが加わりました。情報収集のため「PR TIMES」に会員登録するメディアユーザーと、お客様がつながりを持つメディア関係者へ事前案内を行い、視聴 URL を共有することで、限定的な対象者に絞ってライブ配信の視聴を可能にします。また、チャット機能を通じた質疑応答も可能です。

提 供 内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・プレスイベントのメディア限定公開型ライブ配信^[*] ・メディアユーザー^[**]への事前案内メール送付 ・ダイジェスト動画の制作、公開（公開可能な場合。5万回再生保証） ・報道用素材制作：スチール素材 ・報道用素材制作：未編集映像 ・報道用素材制作：文字起こし ・上記制作素材の二次利用 <p>※YouTube の限定公開機能を使用します。 **発表内容に適切な案内先メディアを抽出します。</p>
想定される視聴者	<ul style="list-style-type: none"> ・事前案内を受けたメディアユーザー ・企業から事前案内を受けたメディア関係者
料 金	80万円（税別）
お問い合わせ先	専用窓口にてお問い合わせください。 URL : https://tayori.com/form/d423695d08d32b754aa20f59c69a0e3bddc96b22 お問い合わせ後、2営業日以内に担当よりご連絡差し上げます。

PR TIMES
● LIVE

注 意 事 項	<ul style="list-style-type: none"> ・プレスリリース配信サービス「PR TIMES」を活用し、事前案内を行う場合は別途利用料金が発生します。(料金プラン：https://prtimes.jp/price/) ・プレスイベントの会場手配は提供内容に含まれておりません。 ・メディアユーザー以外への事前案内は提供内容に含まれておりません。 ・メディア関係者、メディアユーザーの視聴を確約するものではありません。
---------	--

●ご利用までの流れ



●プラン追加の背景

ライブ配信サービス「PR TIMES LIVE」は、2017年11月より記者発表会やカンファレンスなどのプレスイベントをライブ配信することで、来場することのできない記者や生活者にリアルタイムに企業の一次情報を届けてまいりました。従来は記者が現地取材しなければ伝えられなかった記者発表会などクローズドなイベントの様態を、リアルタイムにオープンにして所属や地域を超えて直接誰でもアクセス可能にするとの発想から、視聴者を限定しない方式を採ってきました。

今、新型コロナウイルスの影響でオフラインのイベント開催がままならない状況が続く、オンラインに切り替えて記者会見の開催を検討する企業が増えています。一方で、各社急な対応変化を迫られる中で、生活者も見られるオンライン会見の経験がなくオンライン開催自体を足踏みするケースもあることから、発表情報があるにもかかわらず機会損失になってしまうような状況を改善しようと、限定公開プランを提供開始することで、一般公開するか否かお選びいただけるようにいたしました。

【「PR TIMES」について】

URL：<https://prtimes.jp/>

「PR TIMES」は、企業とメディア、そして生活者をニュースでつなぐインターネットサービスです。2007年4月のサービス開始より、報道機関向けの発表資料（プレスリリース）をメディア記者向けに配信する機能と、「PR TIMES」およびパートナーメディアに掲載する機能をセットで提供してまいりました。利用企業数は2020年2月に3万6000社に到達、国内上場企業38%に利用いただいています。情報収集のためメディア記者1万7000人に会員登録いただいています。サイトアクセス数も伸長しており、2019年12月に月間2700万PVを突破しました。配信プレスリリース本数も増加しており、2019年10月には過去最高の月間1万5000本を超えています。全国紙WEBサイト等含むパートナーメディア196媒体にコンテンツを提供しています。大企業からスタートアップ、地方自治体まで導入・継続しやすいプランと、報道発表と同時に生活者にも閲覧・シェアしてもらえるコンテンツ表現力を支持いただき、成長を続けています。（運営：PR TIMES）



【株式会社 PR TIMES 会社概要】

ミッション： 行動者発の情報が、人の心を揺さぶる時代へ
 会社名： 株式会社 PR TIMES（東証一部 証券コード：3922）
 所在地： 東京都港区南青山2-27-25 ヒューリック南青山ビル3F
 設立： 2005年12月
 代表取締役： 山口拓己
 事業内容：

- プレスリリース配信サービス「PR TIMES」(<https://prtimes.jp/>)の運営
- 広報・PRの効果測定サービス「Webクリッピング」(<https://webclipping.jp/>)の運営
- オンライン上で話題化を図るデジタルPRの戦略立案・実施
- 動画PRサービス「PR TIMES TV」「PR TIMES LIVE」(<https://prtimes.jp/tv>)の運営
- カスタマーレーションサービス「Tayori」(<https://tayori.com/>)の運営
- タスク・プロジェクト管理ツール「Jooto」(<https://www.jooto.com/>)の運営
- スタートアップメディア「BRIDGE」(<https://thebridge.jp/>)の運営、等

URL：<https://prtimes.co.jp/>